

World Vision

この子を救う。未来を救う。



Closure report 2026

終了報告書

ルワンダ共和国
グウィザ地域開発プログラム
RWA-190768 (2009 年～2026 年)

コンゴ民主
共和国

ウガンダ

ルワンダ共和国

グウィザ地域
開発プログラム

ブルンジ

タンザニア

ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

基礎的な読解力を
身につけている小学3年生の割合

2017 年

2026 年



35%



78%

安全な飲み水を
利用している世帯

2017 年

2026 年



31%



90%

複数の収入源を持つ世帯

\$ 2017 年

\$ 2026 年



9%



74%

Education



教育

学びの環境を整え、
子どもの成長を支援

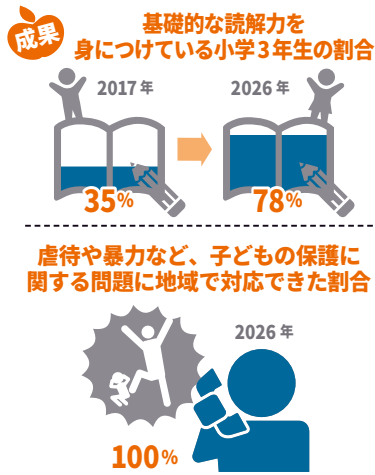
以前は子どもの数に対して学校や教室が足りず、学習環境にも課題があったため、小学校を修了しても、基本的な読み書きや計算力が身につけていない子どもが多くいました。ワールド・ビジョンは、子どもたちがより良い教育を受けられるよう、校舎の改修を進めるとともに、教員を対象とした読解指導の研修を実施し、識字力向上に重点を置いた活動を行いました。その結果、子どもたちの読解力には大幅な改善が見られています。また、学校では子どもの権利に関する啓発活動も行い、子どもたち自身が自分を守るための知識を学んでいます。さらに、地域では相談・通報の仕組みづくりを進め、暴力や虐待から子どもたちを守る体制も強化しています。



支援前
土で作られた古い校舎



支援後
新しく建設された校舎



Livelihood



生計向上

収入を増やして
暮らしを改善

地域の多くの世帯は農業によって生計を立てていますが、以前は伝統的な農法に頼っていたため、作物の生産性が低く、収入も少ない状況でした。ワールド・ビジョンは、農業技術に関する研修を実施し、特に支援が必要な世帯には家畜や農業に必要な設備を提供しました。また、住民が毎月少額の積み立てを行う貯蓄グループの活動も進められました。グループで積み立てた資金をもとに少額の借入れができるようになったことで、家畜の購入や農業用の種子の準備、小規模な商店の運営など、新たな収入につながる活動に取り組めるようになりました。こうした活動を通じて世帯収入が向上し、子どもたちに必要な食事や生活用品をまかなえるようになっていきます。



支援後
貯蓄グループの活動の様子



支援後
農業研修などを受けて家計が改善した家族と、ルワンダの事業を担当する野本スタッフ



Health & Nutrition



保健・栄養

栄養と衛生の知識を広げ
子どもの健康を改善

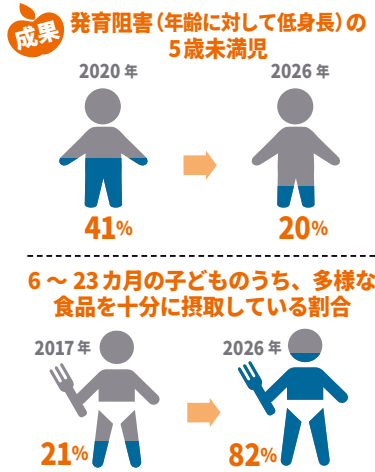
地域では、5歳未満の子どもの栄養不良が深刻な課題となっており、保護者の栄養や衛生に関する知識も十分ではありませんでした。そこで、地域の保健ボランティアに対し、子どもの栄養・衛生・発達に関する研修を実施しました。研修を受けた保健ボランティアは乳幼児を持つ家庭を訪問し、専用のメジャーなどを使って子どもの栄養状態を確認します。そこで栄養不良と判断された子どもの保護者には、現地で手に入る食材を使った栄養価の高い食事や衛生について伝えるなど、重点的な支援を行いました。こうした活動を通じて、地域で栄養不良の子どもを早期に発見し対応できるようになり、栄養不良の改善につながりました。



支援後
子どもの身長、体重から栄養状態を計測するポスター



支援後
栄養のある食事をする子どもたち



Water



水衛生

安全な水と衛生習慣で
子どもの健康を守る

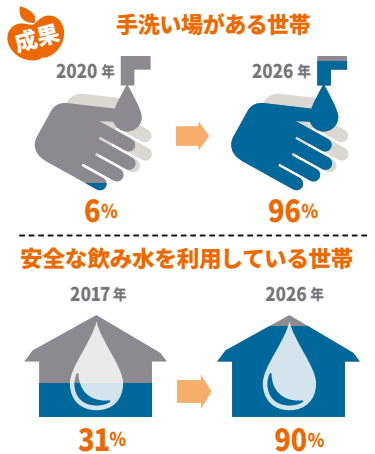
支援開始以前は、多くの家庭で安全でない水を生活や飲用に使用していました。子どもたちが長い道のりを歩いて水くみをしたり、汚れた水を飲んで体調を崩したりすることも珍しくありませんでした。また、学校には清潔なトイレも整備されていませんでした。こうした状況を改善するため、ワールド・ビジョンは、飲み水の煮沸消毒や正しい手洗いの方法など、衛生習慣に関する啓発活動を地域や学校で継続的に行いました。その結果、安全な水を利用できる世帯が大幅に増加し、下痢や水を原因とする病気の予防にもつながっています。また、学校では男女別のトイレを整備し、子どもたちが清潔なトイレを安心して利用できる環境を整えました。こうした環境整備は、月経時における女子生徒の継続的な通学にも貢献しています。



支援前
不衛生な水をくむ子どもたち



支援後
男女別および障害を持つ生徒用に建設された学校のトイレ



マネージャーよりごあいさつ



グウィザ地域開発
プログラムマネージャ
ケレン・ケビキミ

2009年、ワールド・ビジョンがこの地域で支援を開始したのは、貧困や安全な水へのアクセス不足、教育や保健サービスの不足といった課題が深刻だったためです。活動開始当初から、私たちは地域の人々とともにこうした課題に向き合い、取り組んできました。プログラム期間中は、国家の安定と経済発展が進む一方で、干ばつや不安定な天候の影響も受けましたが、地域の協力と関係者の連携により、教育、栄養、子どもの保護の分野で着実な改善が見られました。これらの成果は、子どもたちの健やかな成長と生活環境の向上につながっています。皆さまの長きにわたるご支援に、心より感謝いたします。

地域代表者からのごあいさつ



地方行政責任者
イマキュリー・
ニラビゼイマナ氏

17年にわたる温かいご支援に、心より感謝いたします。かつてこの地域では、人々は貧困に苦しみ、日々の食事にも困るほどでした。しかしワールド・ビジョンの活動を通じて、多くの家庭が収入を得て、安定した生活を送れるようになっていきます。栄養に関する知識の向上や食生活の改善も進み、今では保護者が子どもたちをしっかりと養い、健やかな成長を支えられるようになりました。さらに、安全な水へのアクセスや教育環境の整備など、子どもたちを取り巻く環境は大きく改善されました。私たちは地域の人々とともに、これらの成果を維持しさらに発展させながら、子どもたちの未来を支え続けていきます。

皆さまとともに歩んだ 17 年間の支援と成果

準備期

2009 年度
▼
2010 年度

- ◎ 支援地域の課題やニーズを調査
- ◎ 地方行政、地域住民との協力体制を構築
- ◎ 地域の資源や人材を調査
- ◎ 地方自治体および地域住民とともに、支援活動の実施計画を策定



支援開始当初の一般的な住居

第 1 期

2011 年度
▼
2017 年度

- ◎ 子どもの栄養改善に向け、保護者へ栄養や母乳育児に関する研修を実施
- ◎ 改良種子の活用や農業研修を通じて、農業生産性の向上を支援
- ◎ 家畜の提供を通じて、家庭の収入向上と栄養改善を支援
- ◎ 校舎 4 棟を建設し、学習環境を改善
- ◎ 子どもの権利や子ども保護に関する研修を教員や地域リーダーへ実施
- ◎ 家庭用トイレの新設・改修を支援し、衛生環境を改善



新たに建設された校舎で学ぶ子どもたち

第 2 期

2018 年度
▼
2024 年度

- ◎ 貯蓄グループや現金給付を通じて、地域住民の経済的自立を支援
- ◎ 教員を対象に、読み書きの指導法研修を実施
- ◎ 子どもの読解力向上のため、絵本を配布
- ◎ 学習環境改善のため、学校に机を提供
- ◎ 保健センター 1カ所を建設し、地域の医療サービスを改善
- ◎ 妊婦や乳幼児が地域で保健サービスを受けられる環境を整備
- ◎ 5歳未満児の栄養状態を確認し、栄養改善を支援



保健センターで診察を受ける女性

第 3 期

2025 年度
▼
2026 年度

- ◎ 女子生徒の学習環境改善のため、学校に女子生徒用の保健室を設置
- ◎ 若者を対象に、就職や起業に向けた研修を実施
- ◎ 読書キャンプや水管理委員会などの活動を地域へ引き継ぎ
- ◎ 支援終了後の各活動の移行計画に関する関係者との話し合い



学校に設置された女子生徒用の保健室

支援を受けたチャイルドのストーリー

将来の夢は、衣料品店を開くこと。 支援がつかない希望と未来

アリーンさん
(18 歳)

18 歳のアリーンさんは、両親と 8 人のきょうだいと暮らしています。以前は家計がとても苦しく、十分な食料さえ得られない日々を過ごしていました。学用品を買うこともできず、家庭の経済的な事情から学校を休まなければならないこともありました。

しかし、ワールド・ビジョンの活動を通じて、アリーンさんの生活は大きく変わりました。学用品や衣服など必要な支援を受けられるようになり、安心して学校に通えるようになったのです。

また、家族にも前向きな変化が生まれました。父親は農業研修で学んだ知識を生かして、バナナやジャガイモの栽培を始め、収穫した作物を販売して収入を得るようになりました。母親も市場で商売をして、家計を支えるようになりました。生活が安定したことで、家族の関係も以前より良くなり、互いに支え合いながら暮らせるようになったといいます。

現在、職業訓練校で縫製を学んでいるアリーンさん。将来の夢は、衣料品店を開き、自分と同じように仕事を必要としている若者たちを雇用して、地域に貢献することだと語ります。

「日本のチャイルド・スポンサーの皆さんのご支援は、私だけでなく家族や地域にも希望を与えてくれました。本当に感謝しています。これからも、支援を必要としている子どもたちに夢や希望を届け続けていただけたらうれしいです」

